

# 奈良の風景カレンダーに

## 棚田、社寺13点 予約開始

明日香村の棚田や奈良の社寺など、奈良の素朴な風景を挿絵にした来年のカレンダー「まほろびすと」を



行する「まほろび会」(奈良市)が製作し、予約受け付けを始めた。

古事記編纂1300年を記念し、古事記などで「大和は国のまほろび」と詠まれた奈良の素朴な風景を残すためカレンダーにま

めた。

挿絵は、今年3月で休刊した季刊誌「あかい奈良」で活躍したイラストレータ、桑江朝敏さんの墨画。明日香村の棚田や奈良市の太安万侶の墓、薬師寺、元興寺など13点を抜粋した。

挿絵の名所への交通案内や、2カ月ごとの県内の行事予定も掲載。メモなどが入るポケット付きで、挿絵は色鉛筆などで色付けすることもできる。同会は「残したい風景を掲載しており、カレンダーを見て奈良

に足を運びたいと思ってもらえれば」と話している。840円(税込み)。一般向けは2千部、企業や社寺向けは3千部をそれぞれ限定販売。問い合わせは、同会(☎0742・50・2002)。